

第6期 福岡市男女共同参画審議会
男女平等教育・地域支援部会（第4回）議事録

1. 開催日時 平成28年7月7日（木）14：15～15：10
2. 場 所 福岡市役所 1504会議室（15階）
3. 出席者 （出席委員 6名）
石内委員、石川委員、大久保委員、藤井委員、前田委員、増川委員
（福岡市 1名）
市民局男女共同参画課長
4. 傍聴人 なし
5. 議 題 （1）部会長、副部会長の選出について
（2）重点評価項目の審議・評価
6. 議事概要 （○…委員 △…事務局）

【議題1 部会長、副部会長の選出について】

部会長について、事務局より、石内委員の選任を提案。

委員からの異議なく、承認された。

副部会長について、石内部会長より、大久保委員の選任を提案。

委員からの異議なく、承認された。

【議題2 重点評価項目の審議・評価】

① 「男女平等教育の推進」について

- 「校務支援システム」ができたので、男女混合名簿の採用は今年がチャンスであると聞いた。100%の採用率を実現してほしい。

- 「校務支援システム」の担当課をヒアリングしてはどうか。

- 市内全小・中学校ではPTA役員と校長に対して、予算に関するアンケートを実施している。それを集約し7月に予算要望を教育委員会へ提出している。そういった現場のアンケートを拾いあげて進めることは大事だと思う。

男女混合名簿も副読本も小学校の活用率に対し、中学校では50%前後と低い。使い勝手などの事情があるかもしれないので、校長会や現場の意見を取り入れて現場で活用しやすい副読本にする必要がある。現在の副読本の改訂の予定はどうなっているのか。

- △ 平成28年度より具体的な改訂作業にとりかかり、平成29年度の前半に実証授業を行い、最終案を確定する予定。秋頃には学校へ配布し、平成30年度から使用してもらおう。現場などの意見を踏まえながら、改訂作業を進めていく。

- 現在検討委員に就任依頼をしているところだと思う。私の学校にも委員就任依頼があった。中学生向けの副読本には、家庭科、社会科、道徳の3つの内容が盛り込まれている。小学校の場合は1人の担任の先生が自由に計画の中に組み込み活用できるが、中学校は教科担任制で縦割りなのでなかなか活用が進まない。教務の先生が受け取った後に、どの教科の先生に渡すかによって状況が変わる。

私は家庭科の担当なので、まず家庭科で1年生のときに使うようにしている。その後、道徳や社会など次のカリキュラムに行くことはない。私の学校では、あとは朝読書の時間などで各自読みなさいと指導している。

教育委員会にも話したが、副読本の内容は今のままでいいものだと思う。中身がよくないから使い勝手がよくないわけではない。それよりも、リーフレットを3つに分けるなどの工夫をしないと活用状況は変わらない。

- ページで分かれていたらよいのか。

- 分冊にならないとだめだと思う。現在は、家庭科の先生が副読本を使用する意識が高いので、家庭科で使っている学校が多いと思う。

- そういったことを部会として教育委員会へ伝えたい。

- 使っていない中学校はなぜ使っていないのかを把握すべき。

- 調べて、改訂版に反映すべき。教育委員会をヒアリングをしたい。

- 私の校区で今年初めて、小学校の卒業式で男女が混合名簿のとおり卒業証書の授与が行われた。地域の人にとっては、今まで男子が先、女子が後だったのが、混合で行われたことは驚異的なことだった。どのくらいの小学校で男女混合で卒業証書授与が行われたのか。私の校区の中学校は男女別に行われているが、他の中学校の状況はどうだったのか。小学校の卒業式に参列した地域の人や親にとって、「これが男女混合名簿」ということが明確に伝わり、とてもよかった。

- 名簿が男女混合になっていても、卒業式などで活用されないと子ども達への意識づけはできない。採用率だけでは、男女平等教育の達成率は把握できない。

- 次回の部会で混合名簿の担当課へヒアリングをしたい。

- △ では次回の部会で、副読本の活用状況と卒業式での混合名簿の採用状況についてヒアリングということによろしいか。

- 中学校は、入学式は男女混合で行われるが、卒業式は合唱を行うために男女別に座る現実がある。そのために、男女混合名簿を使っている学校も多いので、卒業式での実施状況ではなく入学式で聞いた方がよい。

- △ では小学校の卒業式と中学校の入学式についてのヒアリングということによろしいか。

- (意義なし)

- 公民館長・主事は準職員であり、公民館ではさまざまな講座を実施している。男女共同参画に関する知識のレベルをもっとあげるべき。

- △ 毎年、新任公民館長向けには男女共同参画についての研修を行っている。

- 新任公民館長だけでなく、すべての館長、主事へもきちんと研修をすべき。
- 公民館の運営懇話会には地域支援課も参加しているので、そこで地域支援課職員からも進言してもらおうと具体的に話ができる。
- 地域の男女共同参画推進が一番難しい。公民館に関わる人達の意識は大切。もっと研修を強化してほしい。
- 地域住民から公民館職員へは言いにくいので、研修の場などで市からきちんと行ってほしい。
- 時代にあった内容で研修を実施すれば、長く公民館職員をしている人にとっても新たな発見や振り返りになると思う。その機会は必要。
- どの程度研修を行っているかヒアリングをしたい。
- △ では、全ての公民館職員に対しての研修状況を、次回の部会で担当課へヒアリングと
いうことでよろしいか。

(異議なし)

② 「地域における男女共同参画推進活動の支援」について

- 今回は防災について強調した方がよい。設営から運営に関して、大変なときこそ女性の視点が欠落する。3次計画には防災の視点が入っているが、2次計画には入っていなかったもので、今回の評価では強調すべき。
福岡市男女共同参画週間についての取組は、よくやっている。
- 校区で毎年実施している防災訓練時に、区の防災訓練担当者が「隣の校区では炊き出しは食生活改善推進委員会がしました」と言ったために、会長が「じゃあ炊き出しは食生活改善推進委員会です」と発言し、そうなった。区の男女協同参画推進担当者へ、「話し合いもなく、当然のように女性が会員の食生活改善推進委員会が炊き出しをすることになれば、炊き出しは女性の役割だということになる。そのようにならないように、男

女共同参画の視点を持った人員配置をするべきと言ってもらえれば、みんなでどうしようかと話すこともできた。」と意見を言ったが、このようなこともあるので区の職員への研修もきちんとして欲しい。

△ 本市の地域防災計画も男女共同参画の視点を入れて見直しを行う予定。現在の避難所運営マニュアルには男女共同参画の視点を取り込まれているが、わかりにくい部分があるので、しっかりと記載するよう見直していきたい。

○ 地域の女性リーダーをいかにしてつくるかという問題もある。校区の男女共同参画協議会委員のレベルを上げるための養成講座をしてほしい。役職の就任をお願いしても、遠慮して引き受けてくれないこともあるので、講座を受けて実力を備えるとみんなからの評価を得て、受けてもらいやすくなる。

△ 出前講座の際にも、女性が地域の役員を引き受けてくれないという意見を聞くことがある。今年度より校区で地域活動をしている方を対象に、地域で自信を持って活動できるよう地域リーダーを育成する「地域女性活躍チャレンジ塾」を実施することとしている。